



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

2017年6月22日

統括推進

アジェンダ

- ① 決算報告
- ② SUJ営業スキーム変更について
- ③ 次回セミナーについて
- ④ システム導入課題について



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

① 決算報告

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日 現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 6,730,741】	【流 動 負 債】	【 98,668】
現 金 ・ 預 金	6,730,741	預 り 金	98,668
【固 定 資 産】	【 1,728,000】	負 債 合 計	98,668
(無 形 固 定 資 産)	(1,728,000)		
ソ フ ト ウ ェ ア	1,728,000		
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 8,360,073】
		資 本 金	0
		(利 益 剰 余 金)	(8,360,073)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	8,360,073
		繰 越 利 益 剰 余 金	8,360,073
		純 資 産 合 計	8,360,073
資 産 合 計	8,458,741	負 債 ・ 純 資 産 合 計	8,458,741

損益計算書

至平成 29 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
受 取 会 費	2,336,000	
A B 委 員 会	1,934,500	
セ ミ ナ ー 売 上	1,430,000	
総会競技会運営協賛金	976,400	6,676,900
売 上 総 利 益 金 額		6,676,900
【販売費及び一般管理費】		6,232,943
営 業 利 益 金 額		443,957
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息		785
経 常 利 益 金 額		444,742
税引前当期純利益金額		444,742
当 期 純 利 益 金 額		444,742

SET UP JAPAN

技術物流連合会



販管費内訳

至平成29年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額	
福 利 厚 生 費	196,214	賞品・懇親会
外 注 費	3,429,202	ハイペリオン(毎月) 120,000 間口(毎月) 11,000 伊藤(毎月) 30,000 山口(毎月) 54,000 角建材 243,742+67,000 清水 233,879 北田 122,508
旅 費 交 通 費	724,636	
通 信 費	48,610	
交 際 費	100,000	
会 議 費	63,940	
研 修 費	1,182,384	稀勢の里支援金 有志メンバーから入金
ソフトウェア償却	432,000	
消 耗 品 費	37,193	セミナー
運 賃	1,500	
支 払 手 数 料	17,264	
合 計		6,232,943



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

今期予算の件

2017年度収支構造予測 (yearly)

	収支項目	金額	備考
収入の部	受取会費	2,040,000	5月末 17社
	AB会費	1,680,000	5月末 14社
	合計	3,720,000	
支出の部	外注費	2,580,000	間口様、HYP、伊藤様、山口様
	交通費	724,000	伊藤顧問及び競技会 (前年同値)
	諸経費	100,000	去年実績考慮
	支払手数料	20,000	去年実績考慮
	合計	3,420,000	
差引		296,000	

※ イベント実施の都度実費予算捻出が必要

今期予算

今期末 予測預金残高

収支項目	金額	備考
預金残高	6,730,741	3月末時点
予想純増預金	296,000	
システム補助金	840,000	70,000×12ヶ月
予測預金残高	6,186,741	－544,000

今期末 予測預金残高

前年同様モデル

項目	金額	備考
各委員会活動費	600,000	品質委員会20万 他各委員会10万
セミナー講師代	800,000	MAX予算で参加者からも頂く予定
広告費	100,000	SUJ案内等
予備費	400,000	品質競技会や慶弔等

年間544,000円、預金減少傾向にある。

月間45,300円コストを削るか会員を増やす必要がある。



SET UP JAPAN

技術物流連合会



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

② SUJ営業スキーム変更について

営業スキーム変更

Before

After

受付窓口

HYPERION

HYPERION

営業



意思決定



主幹業務



認識した課題

- ① 最低単価が高いため会員が価格競争力において弱いと疑問を感じる最低単価を見直し検討
- ② 物量が少ない場合、主幹会社のその他業務の延長で回さざるをえない
物量が多くなればSUJとして業務員コストの捻出が可能



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

③ 次回セミナー開催について

次回セミナー開催について

決定事項

開催時期と場所	11月頃 大阪
講師	間口 前田会長 他会員様からご紹介
実演	配送品質競技会優勝者による実演をする

改善事項

- ✓ SUJ紹介プレゼンは会の冒頭に実施する
- ✓ 集客や出欠に関するレスは極力早期に(フォロー工数が多くかった)
- ✓ 荷主や同業者に参加していただけるよう工夫する
- ✓ SUJスタッフはセミナー中、おもてなしに徹してもらい、終了後にスタッフ慰労会を開催する
- ✓ 講演と懇親会の2部制を検討する(夜の予定があり参加できないケースが多々あった)



SET UP JAPAN

技術物流連合会

高水準の技術と「心のこもったサービス」そしてそのネットワークは組織化された全国配送の実現へ

④ システム導入課題について

システムに関して

- マスタデータの準備
 - 導入に時間がかかるのはマスタデータを作ること
 - 一旦データが揃った会員様から導入を進める
- システムの契約書
 - 山口弁護士に作成してもらい理事委員長会議にて承認済み
 - 導入タイミングで、順次契約を行う
- システム導入費と保守費
 - 初期導入費: 245,000円と実費(交通費・宿泊費)
 - 保守費は月16時間を前提として月7万円 会員様からは徴収せずに運営費から賄う
- 体制
 - 関東と関西の2チーム体制

決議事項